

よりよい社会づくりをめざします②

「自然と社会と人間との調和」をめざし、TaKaRaグループでは皆様とともに、さまざまな社会貢献活動を推進しています。

※このページはTaKaRaグループに関する内容です。

公益信託「TaKaRa ハーモニストファンド」(宝ホールディングス)

宝ホールディングスは、1985年の創立60周年を機に公益信託「TaKaRaハーモニストファンド」を設立し、以来毎年、日本の森林や水辺の自然環境を守る活動、そこに生息する生物を保護するための研究などに対して助成を行ってきました。第1回からの助成先件数はのべ240件、助成金累計額は1億1,525万円、地域は40都道府県に広がりました。2007年度は、青森県小川原湖自然楽校による「マリモなどの水草や藻の観察体験をもとに小川原湖の環境保全について考え方環境教育を進める活動」など10件が選ばされました。

 G:TaKaRaハーモニストファンド



■2007年度「TaKaRa ハーモニストファンド」助成先一覧

	助成先団体・個人	地域	テーマ
研究の部	淀川水系イタセンバラ研究会	大阪府	絶滅の危機に瀕するイタセンバラ(コイ科タナゴ類)の寿命に関する研究
	野尻湖水草復元研究会	長野県	水草と絶滅危惧種の保護と自然界への復元に関する研究
	藤田 喜久(個人)	沖縄県	地下水性生物を指標とした琉球列島の地下水環境評価基準の確立
	金尾 滋史(個人)	滋賀県	水田地帯における魚類相の時代変遷と保全に関する研究
	藏本 泰輔(個人)	奈良県	琵琶湖におけるフロリダバスとノーザンバスの生態的特性の比較
活動の部	小川原湖自然楽校	青森県	小川原湖水辺体験活動から環境教育へ
	八方尾根自然環境保全協議会	長野県	八方尾根における植生回復事業
	環白山保護利用管理協会	石川県	甦る白山の御師～エコツアーガイド養成と利用ローカルルール策定～
	子どもと川とまちのフォーラム	京都府	第7回 子どもと大人の川とまちの寄り合い会議
	久米島ホタルの会	沖縄県	クメジマボタルの生息する川を赤土の流出から守れ!

助成先の声

小川原湖自然楽校では、小川原湖周辺市町村に居住する子どもとその保護者を対象に、年間を通して小川原湖周辺での自然体験活動、環境保全活動をすすめています。活動としては、湖畔のブナ林観察、仮沼での野鳥観察、根井沼の浮島探検などがあります。小川原湖には、汽水湖としては珍しいマリモや、マリモの親戚で、日本では小



図鑑を作るために水草をスケッチ



小川原湖の水草を観察中

川原湖で初めて確認されたウイットロキエラサリナという藻類がいます。その他にも小川原湖に生息する水草の1/3は特定種と言われています。今回、助成金を活用させていただいた活動は、水草観察したあとにオリジナルの水草図鑑を作るというもので、それも電子化により毎回の書き込みができるようにしました。この活動は、第7回北東北「川・水環境」ワークショップでグランプリをいただき、自分たちの活動の大きな励みになりました。本当にありがとうございました。



小川原湖自然楽校 代表
相馬 孝様

ワクチンペーパー(大平印刷)

子会社の大平印刷では、世界の子どもにワクチンを購入するための寄付金を含んだ印刷用紙「ワクチンコート」「ワクチンマットコート」を日本紙パルプ商事(株)と共同で作成し、「世界の子どもにワクチンを日本委員会(JCV)」の活動を支援することにしました。

現在、世界では1日に約4,000人の5歳に満たない子どもたちが、はしかやポリオ、ジフテリアなどで亡くなっています。その多くは、ワクチンがあれば救える命と言われています。

この印刷用紙の使用により、所定の寄付金が「世界の子どもにワクチンを日本委員会(JCV)」を通じて、発展途上国の子どもたちへのワクチン購入に充てられます。



海外での活動(米国宝酒造)

米国宝酒造(Takara Sake USA Inc.)は、サンフランシスコの企業として、日系団体のイベントだけでなく、地元の祭りや自然環境団体の活動にも幅広く貢献しています。

日本文化をアメリカに伝えていくジャパンタウン最大のイベント「桜祭り」に代表される日系イベントへの協賛はもとより、日本総領事館・北加日本商工会議所の年間イベントのほとんどをサポート。今や「松竹梅」の鏡開きは、日系イベントには欠かせないものとなっています。日本庭園「箱根ガーデン」でのイベントにも毎年参加し、売上金額を庭園維持のための基金に寄付しています。また、本社近くで開催されている祭り「Jazz on 4th」でも清酒の有料ティスティングを行い、その売上全額を地元主催者に寄付しています。



「箱根ガーデン」チャリティーイベントでの「松竹梅」の鏡開き
(カリフォルニア州サラトガ市)

ユニバーサルプリンティング(大平印刷)

大平印刷では、印刷物にユニバーサルデザインの視点を取り入れた、人にやさしい印刷物「ユニバーサルプリンティング」に取り組んでいます。特に、日本人男性の20人に1人が色弱であることから、色弱の方にも配慮した色使い「カラーユニバーサルデザイン(CUD)」を印刷物に取り入れるなど、できるだけ多くの人に配慮された印刷物を提供するよう努めています。

